

TJUP主催「大学・短期大学教職員のFD・SD研修プログラム2026」
実施報告書

日 時	2026年9月7日（月）14：00～15：00
担 当 校	明海大学
講 座 名	「文系×生成AI：学生の思考を引き出す“補助線”としてのAI活用法」
講 師	遠藤 信一（明海大学・総合教育センター教授）
実施方法・場所	オンライン（Zoom）
参加人数	36名
概 要	本研修では、文系科目および初年次教育において、生成AIを授業改善と学習支援に活用する具体的な方法を紹介します。教材の要約・例示生成、学生の誤解ポイント抽出、レポート構成案の提示など、教員が明日から使える実践例を中心に構成します。AIは、教員や学生の思考を外に取り出し整理する“補助線”として機能します。Zoom上でのミニワークを通じて、教材改善や課題設計を実際に体験します。
アンケート結果	受講者アンケートの集計結果については、以下のとおり。 ※（）内：回答数 ① 所属校 東京電機大学(12)、明海大学(9)、武蔵丘短期大学(7)、城西大学(4) ② 職種区分 教員(13)、職員(19) ③ 年代 70代(1)、60代(4)、50代(16)、40代(5)、30代(4)、20代(2) ④ 講座の満足度 満足(24)、やや満足(7)、どちらでもない(1) ⑤ 主な感想等（抜粋。原文ママ） ・生成AIの利用方法、特に学生が利用する際の補助的利用を促してあげることが必要であることがわかりました。まだ生成AIに慣れていないので、大変参考になりました。 ・活用方法等に悩んでいるところでしたので、非常にためになる研修会でした。
備 考	